

【開催】2008年6月25日(水)・26日(木)

QES2008

第16回

品質工学研究発表大会

モノ・コトの見極めに革命を!

—評価は部分でなく、全体で—

大会会場／きゅりあん(品川区立総合区民会館)(大会受付8階)

懇親会／きゅりあん大会議室(きゅりあん6階)

主催／品質工学会

協賛／(社)計測自動制御学会 (社)精密工学会 (財)先端加工機械技術振興協会 中部品質管理協会 (社)電気学会
日刊工業新聞社 日本画像学会 (社)日本機械学会 (財)日本規格協会 (社)日本合成樹脂技術協会 (社)日本設計工学会
(社)プラスチック成形加工学会

会場略図

発表大会受付／きゅりあん 8階大ホール入口

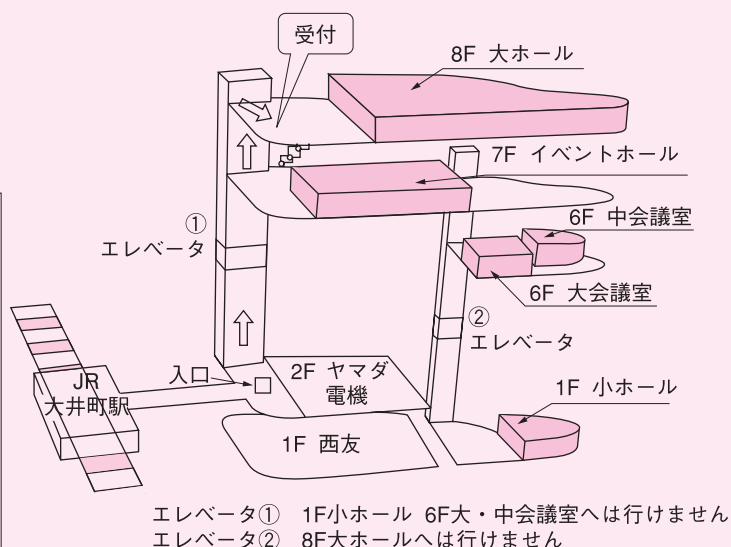
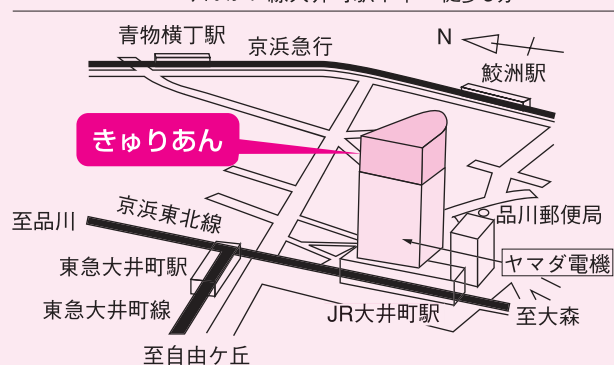
東京都品川区東大井5-18-1

懇親会会場／きゅりあん 6階大会議室

交通のご案内／JR京浜東北線大井町駅下車 東口徒歩1分

東急大井町線大井町駅下車 徒歩2分

りんかい線大井町駅下車 徒歩3分



研究発表大会へのお誘い

大会実行委員会

昨年、品質工学会は節目の15周年を迎えました。今年は原点に戻って再出発します。今年の品質工学会の提案は「モノ・コトの見極めに革命を—評価は部分でなく、全体で—」です。

今、日本はGDPの国際的評価の低迷や社会的トラブルの狭間で苦しんでいます。何故このようなことが起こるのか。起こさないために何をなすべきか。

政治は勿論、経済活動でも、問題が起きてからの対策に翻弄されています。未然防止は唱えられていても、部分的な問題解決がほとんどで、将来起こる問題に対する予知・予測が遅れているのが実態です。

品質工学ではハードだけでなくソフトも含めてシステムのありべき姿を示して、総合判断による機能性評価をすることを提案してきました。

折しも、世界的にエネルギー問題が最重要課題になっています。品質工学における機能性評価は、入出力エネルギーの変換効率を高めることが狙いです。エネルギーの最小化は、社会的損失の最小化に通じます。部分的問題を論じるときには、全体のあるべき姿を明確にして、その上で個々の問題を論じることが大切です。田口名誉会長は常々「技術の総合判断の議論が必

要」と言われています。

品質工学会は、16年目を迎え原点に戻り、地球にやさしい「真のお客様主義」を実現するシステムを創造し、機能性評価によるロバスト設計で信頼性を高め、MTシステムを活用して、将来を予測した安全性も含めた総合判断のできるものづくりが必要だと考えています。

今年の発表は145件ですが、発表されるテーマを通じて、企業や研究機関の技術開発に取組む姿勢や戦略を読み取っていただくことを願っています。

特別講演では、名誉会員岩崎浩一郎氏が「16年目の品質工学」と題して今後の品質工学の新しい可能性を提案します。岩崎氏は、常々「品質工学は地球温暖化対策にぴったりの汎用技術(技術戦略)」と言われています。経営者やマネージャーには時代に即した新しい研究テーマ採択による「革命」を、技術者には現状にとらわれない自由な発想でのシステム創造と機能性評価に挑戦する「革命」を期待しています。

会員はもちろん職場の皆様をお誘いの上、是非大会にお越しくださるよう、大会実行委員一同、心よりお待ちしております。

6月25日(水)

壇上発表：大ホール(きゅりあん8階)／小ホール(きゅりあん1階)

中国からの品質工学への挑戦

大ホール 中国への展開① 10:30～12:10	1	中国現法における効果的な品質工学の展開－日本の指導員の立場より－	宇井 友成	アルプス電気(株)
	2	中国現法における効果的な品質工学の展開－中国現法の推進員の立場より－	周 佛鼎	無錫ALPS電子有限公司
	3	L ₃₆ 直交表と平均値SN比による射出成形条件の最適化	孫 玉濤	大連ALPS電子有限公司
	4	SN比を用いたスイッチ用グリース塗布量の安定化	潘 紀陽	無錫ALPS電子有限公司
大ホール 中国への展開② 13:15～14:55	5	品質工学による従業員適性評価	高 文靜	大連ALPS電子有限公司
	6	パラメータ設計によるコネクタ端子切断ポンチの寿命向上	于 柳海	無錫ALPS電子有限公司
	7	パラメータ設計による直進フィーダーの搬送性改善	方 海鋒	寧波ALPS電子有限公司
		セッションのまとめ (14:30～14:55)		

小ホール 機械系① 10:30～12:10	8	品質工学に基づく自動車サスペンション系のロバスト最適設計	内田 博志	マツダ(株)
	9	サスペンションの最適化	栗田 昌徳	三菱ふそうトラック・バス(株)
	10	固有振動数を用いた画像読み取り装置筐体の防振構造	留目 剛	東芝テック画像情報システム(株)
	11	防振機構のパラメータ設計	坂本 秀樹	アルパイン(株)
小ホール 計測技術 13:15～14:55	12	感触測定器の計測方法の研究	長郷 学	アルパインプレジジョン(株)
	13	粒子形状測定条件の最適化検討	阿部 次男	コニカミノルタビジネステクノロジー(株)
	14	タイパー歪み測定器による型締め測定方法の最適化	荒井 亮平	日精樹脂工業(株)
	15	イオンクロマトグラフでの計測精度改善	池田 正勝	アルプス電気(株)

大ホール 15:10～17:10	《来賓挨拶》		徳増 有治 経済産業省産業技術環境局審議官	
	《表彰式》 貢献賞		アルパインプレジジョン(株)	
	広報部会感謝状			
	《表彰式および受賞記念講演》			
	・精密測定技術振興財団品質工学賞論文賞		草間 三郎 品質工学会会長	
	金賞：MTシステムと肝疾患の診断（2）		兼高 達貳 元東京通信病院	
	－T法（3）を利用した特殊健康診断の場合－			
	銀賞：品質工学を活用したシステム設計手法		山田 幸光 アルプス電気(株)	
	－磁気センシングシステムの最適化－			
	銀賞：スポット電極ドレッサの機能性評価		入鹿 康生 マツダ(株)	
	銀賞：経営課題への品質工学の活用（1）		白幡 洋一 東北リコー(株)	
	－会社の技術活動に品質工学の考え方、手法をビルトインする方法論の検討－			
	・ASI賞		田口 伸 American Supplier Institute	
	電流－電圧特性による手はんだ工程条件の最適化		楠本 剛史 アルパインプレジジョン(株)	
	家庭で楽しむ品質工学		竹内 和雄 セイコーインスツル(株)	

6月25日(水)

ポスター発表 展示時間 10:30～15:00：イベントホール(きゅりあん7階)

A会場 人の能力評価 OS・自由討論 10:30～12:15	16	RT法を用いたクレベリン型検査の判定－海外工場へ贈る改善ソリューション－	蛭田 礼弥	アルパインマニファクチャリング(株)
	17	外観検査員の能力評価	松崎 浩範	アルパインプレジジョン(株)
	18	喫煙者の味覚能力評価	柳本 嘉弘	積水エンジニアリング(株)
	19	回転運動による作業持続性評価装置の開発	早川 幸弘	富山商船高等専門学校
	20	技術者の「品質工学実践力」評価方法の検討	田村希志臣	NMS研究会
	21	「品質工学による文化を変える」の定量化の研究（2）	吉田ゆき子	アルパインプレジジョン(株)
A会場 教育と普及① OS・自由討論 13:15～15:00	22	コマのパラメータ設計	中原 健司	長野県品質工学研究会
	23	糸・紙ヘリコプターによる機能性評価教育	檜原 弘之	九州工業大学
	24	ミニ四駆を用いたパラメータ設計の教材	沖村要一郎	積水エンジニアリング(株)
	25	北関東における産官学共同での品質工学推進の報告～導入を受けた側から～	島田 登	ポーライト(株)
	26	QSD（品質安定化設計手法）の海外普及展開	中沢 弘一	松下電器産業(株)
B会場 加工技術① OS・自由討論 10:30～12:15	27	発表取り下げ		
	28	球面レンズ研削の加工条件安定化	相馬 雅典	(株)栃木ニコンプレジジョン
	29	光学部品芯取り加工の精度向上	毛塚 智亮	(株)栃木ニコン
	30	CMPプロセスの開発	本田 忠行	ソニー(株)
	31	レーザ加工機の加工条件の最適化	山本桂一郎	鹿児島工業高等専門学校

モノ・コトの見極めに革命を！ー評価は部分でなく、全体でー

6月25日(水) ポスター発表 展示時間 10:30～15:00：イベントホール（きゅりあん7階）

B会場 環境・エネルギー OS・自由討論 13:15～15:00	32	パラメータ設計による工場排水処理条件の最適化	結城 浩男	アルプス電気(株)
	33	固体高分子形（PEFC）燃料電池のMEA組成の最適化研究	森 輝雄	森技術士事務所
	34	REローターハウジングのCrMo合金メッキ加工条件の最適化による摩擦低減	谷田 芳夫	マツダ(株)
	35	切削加工による電力評価のエネルギー的課題	江末 良太	(株)IH I
	36	ユーザの立場での燃費を良くする自動車運転術の研究	佐々木市郎	アルプス電気(株)
C会場 加工技術② OS・自由討論 10:30～12:15	37	シミュレーションを用いたプラスチック成形条件の最適化	須田 高史	群馬産業技術センター
	38	射出成形シミュレーションを用いた樹脂充填の最適化	大井川一裕	アルパインプレジジョン(株)
	39	樹脂成形システムにおける全体最適の取り組み	田代 謙	日産自動車(株)
	40	射出成形機の可塑性装置における機能性評価方法の研究	常田 聡	日精樹脂工業(株)
	41	シミュレーションによる射出成形機のダイブレード形状の最適化	三浦 克朗	日精樹脂工業(株)
C会場 加工技術③ OS・自由討論 13:15～15:00	42	シミュレーションによる押出成形スクリュウの設計	椎名 陽一	積水化学工業(株)
	43	樹脂と金属の圧入条件の研究	鈴木 大輔	アルパインプレジジョン(株)
	44	透明フィルムの超音波接合工程の最適化研究	榊 英則	(株)タミヤ
	45	電流・電圧特性評価によるはんだ付け工程自動化の研究	楠本 剛史	アルパインプレジジョン(株)
	46	2液系エポキシ接着剤によるSUS板接合工程の最適化研究	木村 康孝	住友ベークライト(株)
D会場 機械系② OS・自由討論 10:30～12:15	47	光学部品におけるUV接着評価の研究	出村 直樹	(株)栃木ニコン
	48	微小チップのダイボンド工程の最適化	佐藤 秀治	アルプス電気(株)
	49	大判シート給紙機構の最適化設計	横山 武史	コニカミノルタエムジー(株)
	50	高速印刷機の給紙機構改善	長江 浩行	瑞浪精機(株)
	51	シミュレーションによるカラーキャナ移動距離誤差の改善	林 英一	フジノン(株)
D会場 機械系③ OS・自由討論 13:15～15:00	52	機能性評価の適用によるカラー複合機短期開発の実践	吉野 直人	富士ゼロックス(株)
	53	発表取り下げ		
	54	シミュレーションによる感光ドラム駆動ユニットの最適化	大村 欽也	キヤノン(株)
	55	構造解析による保形性の最適化	三森 智之	アルプス電気(株)
	56	CDメカニズムにおけるディスククランプ機構の最適化	山野 竹秀	アルパイン(株)
	57	車載オーディオ照明における構造の最適化	高澤 英明	アルパイン(株)
	58	5軸複合マシニングセンタ高速回転テーブルのシール構造の最適化	吉田 光慶	(株)松浦機械製作所
	59	旋削機能付マシニングセンタ主軸回転固定機構の安定化に関する研究	木村 文武	(株)松浦機械製作所
	60	フロアスタンド型顕微鏡の関節ブレーキ機構の設計条件最適化	村上 勝	オリンパス(株)

6月25日(水) ポスター発表 展示時間 10:30～15:00：大会議室／中会議室（きゅりあん6階）

大会議室 識別・診断① OS・自由討論 10:30～12:15	61	マンモグラフィ（乳房のX線撮影）画像から乳がんを検出する方法	金井 康充	(有)中六
	62	発表取り下げ		
	63	金型材の研削加工における材料の健全性評価	清水 友治	岩手大学
	64	生産工程データによる製品良否判定へのMT法適用の検討	山口 新吾	松下電器産業(株)
	65	RT法を用いたスイッチ製品の不良診断の研究	菊地 富男	アルプス電気(株)
大会議室 識別・診断② OS・自由討論 13:15～15:00	66	高分子材料への噴きつけ塗装の評価	星野 隆臣	アルパインプレジジョン(株)
	67	T法による自動車乗心地指標の定量化	内田 博志	マツダ(株)
	68	自己診断による健康へのチューニング	竹内 和雄	セイコーインスツル(株)
	69	位相ずれを考慮した波形のパターン認識法	野澤 明弘	スター精密(株)
	70	T法によるタクシメーターの機能性評価の研究	牧野 和昭	日東電工(株)
中会議室 電気系 OS・自由討論 10:30～12:15	71	建設機械作業のパターン認識	上田 隆弘	(株)小松製作所
	72	標準SN比で一貫したロバスト化から出荷判定までの取り組み	佐々木市郎	アルプス電気(株)
	73	検出スイッチにおけるON位置の許容差設計	二宮 伸之	アルプス電気(株)
	74	DFM導入による新製品垂直立ち上げと他工場へのライン展開	丹下恵理子	(株)ルネサステクノロジ
	75	電流制御回路のロバスト性向上	後藤 雅行	いすゞ自動車(株)
	76	機能性評価技術による電装部品の生産準備プロセス改善	小國 哲郎	(株)リコー
	77	プラモデル用小型モータの最適化と信頼性確認	田嶋 芳明	(株)ユニバース

☆OS（オーガナイズドセッション）：各ポスターセッションにおいて、発表者より研究概要を説明します。（1テーマ10分：発表5分、質疑5分）
☆自由討論：全OS終了後、発表者と参加者が自由に討論するものです。
☆懇親会：17：45～19：30、きゅりあん6階大会議室

6月26日(木)

壇上発表：大ホール(きゅりあん8階) / 小ホール(きゅりあん1階)

大ホール 9:15～9:45	品質工学会総会			
品質工学の広がり求めて				
大ホール 教育と普及② 10:00～11:40	78	MTシステム教育用教材の開発	増田 雪也	(有)増田技術事務所
	79	電池の機能性評価を用いた学校における教育法の提案	石井 尚正	太田産業技術専門学校
	80	品質工学導入教育教材へ水コプターの提案－装置の改良と計測方法の検討－	山本桂一郎	鹿児島工業高等専門学校
	81	機能および誤差因子の決定の補助をする方法の提案	高田 圭	セイコーエプソン(株)
大ホール 教育と普及③ 12:45～14:25	82	MTシステム活用の軌跡①	谷藤 昭仁	(株)秋田新電元
	83	MTシステム活用の軌跡②	児玉 利美	(株)秋田新電元
	84	10年間の品質工学推進活動から学ぶ～品質工学屋から技術改革指揮者へ～	畠山 鎮	セイコーエプソン(株)
	85	アーキテクチャからみたロバストシステムのポジショニング戦略の検討	稲垣 雄史	東京大学 ものづくり経営研究センター
小ホール 加工技術④ 10:00～11:40	86	ドライブレスのための加工条件最適化に関する基礎的研究	福島 祥夫	群馬大学
	87	粉末冶金における加圧成形に関する最適化（第2報）	小宅 勝	群馬大学
	88	シミュレーションによるマイクロギアの冷間鍛造用金型設計	関根 恵治	岩手大学
	89	エネルギー評価によるスプライン転造システムの最適化	田中 雄幸	マツダ(株)
小ホール 材料系 12:45～14:25	90	シミュレーションによる抄紙型発熱体の坪量分布均一化	中島 武士	花王(株)
	91	無製版プリント用絹布前処理技術の最適化における解析方法の検討	石井 克明	群馬県繊維工業試験場
	92	加硫ゴム配合設計へのパラメータ設計の適用	皆葉 健	住友化学(株)
	93	防水布製作工程の最適化研究	楠神 久人	森技術士事務所
大ホール 14:50～16:20	《特別講演》 『16年目の品質工学』 《表彰式》 精密測定技術振興財団品質工学賞発表賞 品質工学会会長賞 品質工学研究発表大会実行委員長賞		岩崎浩一郎 草間 三郎 草間 三郎 原 和彦	品質工学会名誉会員 品質工学会会長 品質工学会会長 大会実行委員長

6月26日(木)

ポスター発表 展示時間 10:00～14:30：イベントホール(きゅりあん7階)

A会場 機能性評価① OS・自由討論 10:00～11:45	94	締結ボルトの機能性評価	栗田 理世	マツダ(株)
	95	自動車外板用接着剤の機能性評価	熊谷 保昭	三菱ふそうトラック・バス(株)
	96	機器分析を用いたPCB基材の機能性評価	坂本 新	アルプス電気(株)
	97	品質工学による効率的なコピー用紙の選定	橋本 知子	アルプス電気(株)
	98	機能性評価によるステッピングモータの選定	管野 慎矢	(株)ナナオ
	99	オプション用メモリの効率的評価方法の確立	井口 勝夫	パナソニックコミュニケーションズ(株)
A会場 機能性評価② OS・自由討論 12:45～14:30	100	丸鋸チップソーの機能性評価	橘 勇佑	リョービ(株)
	101	ワイヤカット放電加工における機能性評価のための特性値の検討	千田 祐介	宮城教育大学
	102	色ずれの評価方法の効率化 (機能性評価)	三宅 一樹	ブラザー工業(株)
	103	トイレ用オイルダンパーの機能性評価	五島 伸洋	TOTOウォシュレットテクノ(株)
	104	射出成形機の機能性評価	三浦 敏行	アルパインプレジジョン(株)
	105	機能性評価による量産品の品質保証－“不明項目による品質トラブル”の防止－	樋 秀明	アルプス電気(株)
B会場 解析手法の研究① OS・自由討論 10:00～11:45	106	新SN比の研究(1)～従来型SN比の問題点と新SN比の提案	鶴田 明三	三菱電機(株)
	107	新SN比の研究(2)～新SN比の計算方法とデータによる検証	太田 勝之	(株)シマノ
	108	新SN比の研究(3)～数理と静特性への拡張	鐵見 太郎	村田機械(株)
	109	新SN比の研究(4)～MTシステムにおけるSN比の問題点と新SN比の効果	清水 豊	合同会社 オフィス ワイ・エス
	110	新SN比の研究(5)～品質工学の考え方と整合性の検討	鶴田 明三	三菱電機(株)
B会場 解析手法の研究② OS・自由討論 12:45～14:30	111	T法(1)と重回帰分析の予測精度の比較検討	曾我 光英	富士ゼロックス(株)
	112	T S法とT法の解析結果比較と新解析手法(T S T法)の提案	奥名 健二	(株)日立製作所
	113	加法性確認における「推定値と実験値の違い」の調査と解析(1)	森 輝雄	森技術士事務所
	114	はんだ接合でのパラメータ設計におけるデータ構造の研究(1)	楠本 剛史	アルパインプレジジョン(株)

☆OS (オーガナイズドセッション)：各ポスターセッションにおいて、発表者より研究概要を説明します。(1テーマ10分：発表5分、質疑5分)

☆自由討論：全OS終了後、発表者と参加者が自由に討論するものです。

モノ・コトの見極めに革命を！ 評価は部分でなく、全体で

6月26日(木) ポスター発表 展示時間 10:00～14:30：イベントホール（きゅりあん7階）

C会場 工程管理 OS・自由討論 10:00～11:45	115	MTシステムを用いた熱間鍛造工程の良品条件に関する研究	田中 公明	トヨタ自動車(株)
	116	電力パターンによる切削加工中診断	望月 俊夫	(株)リコー
	117	金属光造形複合加工機における電力パターンの活用方法	天谷 浩一	(株)松浦機械製作所
	118	全製造部門へのオンラインQ E展開の取組み	上杉 一夫	アルプス電気(株)
	119	オンラインQ E（検査設計）による外観検査工程の最適化	大塚 祐一	アルプス電気(株)
	120	電力評価による生産性とマネージメントの研究	佐藤 清悟	アルパインプレシジョン(株)
C会場 総合評価 OS・自由討論 12:45～14:30	121	ソフトウェア評価における直交表の活用	大場 正行	TOTO(株)
	122	組み込みソフトウェアの最適化によるパフォーマンス向上	井手上 慎	(株)森精機製作所
	123	人間作業工程へのパラメータ設計の適用	垣田 健	マツダ(株)
	124	直交表を活用しての静音化の検討	森 富也	東北リコー(株)
	125	対話型画面のわかりやすさの検討－ユーザビリティ評価へのアプローチ－	日座 和典	(株)日立製作所
D会場 加工技術⑤ OS・自由討論 10:00～11:45	126	形彫放電加工の安定化	石田 正明	アルパインプレシジョン(株)
	127	レーザー加工パターンの最適化	泉 隆弘	アルパインプレシジョン(株)
	128	円盤状旋削（プレーキロータ）における加工条件の最適化（仕上加工）	藤本 正樹	ヨシワ工業(株)
	129	レベリングブロックの生産性向上	安間 健	(株)須田鋳工所
	130	アルミニウム合金切削加工における最適な電力評価手法の研究	志村 一昌	群馬大学
	131	電力評価を用いた中ぐり加工の最適化に関する研究	五味 伸之	群馬大学
D会場 加工技術⑥ OS・自由討論 12:45～14:30	132	版製作加工の最適化	佐川 重秋	アルパインプレシジョン(株)
	133	アーク溶射における最適溶射条件の検討	南 和彦	昭和電工(株)
	134	リレー封止剤飛散不良の改善	千葉 隆幸	N E Cトーキン(株)
	135	DIP式素子転写部品の安定化	側 友宏	松下電器産業(株)
	136	滑り摩擦評価方法の研究	和田 岳大	アルパインプレシジョン(株)

6月26日(木) ポスター発表 展示時間 10:00～14:30：大会議室（きゅりあん6階）

大会議室 機械系④ OS・自由討論 10:00～11:45	137	ジェットエンジンファンブレードの耐衝撃性ロバスト設計	伊藤 等	(株)I H I
	138	チャタリング抑制を目的とした真空遮断器のロバスト設計	今村 一秋	三菱電機(株)
	139	ロバスト設計法を用いた空調機用吹出しガイドの開発	太田 裕樹	日立アプライアンス(株)
	140	シミュレーションによるモータ取付形状の最適化	中村 友一	松下電器産業(株)
	141	C A Eを用いたタクトイルスイッチ反転ばねの機能性評価方法の検討	上原 一剛	鳥取大学
	142	機能性評価による軸受パラメータ設計及び市場品質予測	上田 博崇	鈴鹿富士ゼロックス(株)
大会議室 機械系⑤ OS・自由討論 12:45～14:30	143	エコキュート室外機の最適配管設計手法の検討	鈴木 央	サンデン(株)
	144	熱流体解析と品質工学の融合によるエコキュート蒸発器の最適化設計	岩澤 直孝	サンデン(株)
	145	タンクレストイレ用ポンプの開発におけるパラメータ設計	秦 誉幸	TOTO(株)
	146	多板クラッチの油圧作動システムにおける油圧応答性の最適化研究	鈴木 達哉	(株)ユニバンス
	147	冷却システム技術の先行開発	福田 晃之	(株)栃木ニコンプレシジョン
	148	トランスミッション変速制御のシミュレーションによる最適化	大野木博章	(株)小松製作所

●実行委員● 50音順（敬称略）

実行委員長／原 和彦 品質工学会副会長	実行委員／佐々木康夫 富士通アドバンステクノロジ(株)
幹 事／高木 春記 キヤノン(株)	白川 智久 セイコーエプソン(株)
事業部会／小池 昌義 (独)産業技術総合研究所	高野 慶介 アルパインプレシジョン(株)
近岡 淳 (有)近岡技術経営研究所	田中 創 三洋電機(株)
坂本慎太郎 日本オブネクスト(株)	豊田 美帆 コニカミノルタビジネステクノロジーズ(株)
関 道子 (株)ニコン	増谷 真紀 (株)ブリヂストン
豊島 隆之 日本板硝子(株)	宮坂 佳秀 セイコーエプソン(株)
	森田 洋平 富士ゼロックス(株)
	森屋 芳洋 (株)リコー
実行委員／有浦 茂樹 テルモ(株)	
糸久 正人 東京大学	地域委員／今泉 公夫 旭化成ケミカルズ(株)
江末 良太 (株)I H I	志田穰太郎 (株)サン・アロイ
衛藤 洋仁 いすゞ自動車(株)	實山 靖浩 リョービ(株)
大村 欽也 キヤノン(株)	中尾 誠仁 (株)ネオス
落合 誠 富士ゼロックス(株)	平野 雅康 コニカミノルタオプト(株)
小林 昭弘 キヤノン(株)	
齊藤 衛 理想科学工業(株)	事務局／中山みち子 品質工学会
坂本 新 アルプス電気(株)	

●申込要領

申込方法

●申込書該当欄に必要事項を記入の上、FAX、郵便またはホームページからなるべく早くお申込み下さい。
●懇親会の参加は任意です。懇親会のみでの参加はできません。
申込先：品質工学会 事務局
〒107-8440 東京都港区赤坂4-1-24 日本規格協会ビル4 F
TEL 03(3583)8234 FAX 03(3582)0698
URL <http://www.qes.gr.jp/>

参加費

●正会員：10,000円 ●学生会員：3,000円
●非会員：20,000円 ●学生非会員：6,500円
●懇親会：6,000円（参加申込書参照）

支払方法

●銀行振込の場合は、下記の口座に振込をお願いします。
みずほ銀行 青山支店 普通口座 1883944
口座名義：品質工学会（ヒンシツコウガクカイ）
●銀行振込の場合は、個人名で請求書番号を記入のうえ、お振込み下さい。
●恐れ入りますが、振込手数料は貴殿でご負担下さい。
●現金書留の場合は、申込書と参加費を同封の上お送り下さい。
●送金額は申込書を参照して下さい。
●入金後、当日欠席の場合でも返金はいたしません。後日、申込者本人に論文集をお送りいたします。

品質工学会 会員募集中！
新規入会し、会員として大会参加

品質工学会では、品質工学に興味をお持ちの方、品質工学の色々な情報を知りたいという方々のために会員を募集しております。いま加入していただきますと、今年度の学会誌を入手できるとともに、研究発表大会に会員価格で参加できます。

会費 正会員／年額8,000円＋入会金2,000円
学生会員／年額3,000円＋入会金1,000円

お申込みお問い合わせは下記事務局までお願いします。

QES2008 第16回品質工学研究発表大会 参加申込書

本ページをコピーし、1人1枚に記入のうえ、FAXでご送付願います。
参加券・請求書の送付は参加者本人に限らせていただきます。
事前登録およびキャンセルは6月17日まで受け付けます。以後参加希望者は直接会場にお越し下さい。

2008年 月 日

●会員は以下の欄にご記入ください。

(フリガナ) 氏 名	殿	会員No.					
---------------	---	-------	--	--	--	--	--

品質工学会 事務局
〒107-8440 東京都港区赤坂4-1-24
日本規格協会ビル4 F
TEL. 03(3583)8234 FAX. 03(3582)0698
URL. <http://www.qes.gr.jp/>

●新規入会・非会員は以下の欄にご記入下さい。

(フリガナ) 氏 名		殿	該当するものに○ 新規入会／非会員	
自 宅	住 所	〒		
	TEL	()	FAX	()
勤 務 先	(フリガナ) 勤務先名			
	所 属			
	住 所	〒		
	TEL	()	FAX	()
送付先		勤 務 先 / 自 宅 (希望する方を○で囲んでください。)		

		申込み方法			大会参加費	該当項目に○	請求書の分割	懇親会費	懇親会参加	請求書の分割	合計金額
		FAX	郵便	WEB							
一 般	会 員	○	○	○	10,000円			6,000円	す る	す る	円
	非 会 員	○	○	○	20,000円						
	新規入会★	○	○	×	10,000円＋10,000円		する・しない				
学 生	会 員	○	○	○	3,000円			6,000円	しない	しない	送金方法を○で囲んで下さい。 銀行振込・現金書留
	非 会 員	○	○	○	6,500円						
	新規入会★	○	○	×	4,000円＋3,000円		する・しない				

★新規入会の大会参加費の欄には、年会費＋大会参加費が記載されています。
年会費は正会員／10,000円（＝年額8,000円＋入会金2,000円）。
学生会員／4,000円（＝年額3,000円＋入会金1,000円）となります。

●新規入会の方は以下の欄にご記入下さい。

会員の種類	(いずれかを○で囲んでください。)		正会員 / 学生会員 (年卒業)
E-mail			
推薦人氏名 (学会員に限る)			会員番号
専 門 分 野			

※請求書、振込用紙を送付しますの
で、期日までに振込をお願いします。
※参加券、請求書及び領収書の送付
先は、参加者本人に限らせていた
だきます。
※参加券は事前にお送りいたします。
参加券がお手許に届かなかった場
合は直接会場へお越し下さい。